

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	日本建築史
科目基礎情報					
科目番号	0134		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	土木建築工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	西田雅嗣他、『建築の歴史; 西洋・日本・近代』、学芸出版社、2003年				
担当教員	中川 明子				
到達目標					
<p>1. 日本建築の工法、構造の変化に伴う建築の様式、都市の変遷と代表的建築様式の変遷・特徴を説明できる。</p> <p>2. 「世界に通用する」技術者を旨とする者として、日本の建築文化への理解を深め、日本の近・現代建築成立への理解へ一助とすると共に、世界各国の建築文化を自ら学び続ける素養を身に付ける。</p> <p>3. 日本における建築とその周辺環境の歴史の変遷過程を知った上で、建築活動に取り組む姿勢を身に付ける。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
日本建築の工法、構造の変化に伴う建築の様式について	日本建築の工法、構造の変化に伴う建築の様式について理解し、説明できる。		日本建築の工法、構造の変化に伴う建築の様式について理解している。		日本建築の工法、構造の変化に伴う建築の様式について理解していない。
都市の変遷・代表的建築様式の変遷・特徴について	都市の変遷・代表的建築様式の変遷・特徴について理解し、説明できる。		都市の変遷・代表的建築様式の変遷・特徴について理解している。		都市の変遷・代表的建築様式の変遷・特徴について理解していない。
建築とその周辺環境の歴史の変遷過程を知った上で、建築活動に取り組む姿勢について	建築とその周辺環境の歴史の変遷過程を知った上で、建築活動に取り組む姿勢について身に付け、実践しようとする。		建築とその周辺環境の歴史の変遷過程を知った上で、建築活動に取り組む姿勢について身に付けている。		建築とその周辺環境の歴史の変遷過程を知った上で、建築活動に取り組む姿勢について身に付けていない。
学科の到達目標項目との関係					
到達目標 C 1 JABEE d-1					
教育方法等					
概要	日本建築の工法、構造の変化に伴う建築の様式、都市の変遷と代表的建築様式の変遷・特徴について学ぶ。				
授業の進め方・方法	視覚的理解を助けるため、代表事例などはプロジェクターでの投影を活用する。視聴覚教材も利用する。授業内容を理解するために、予習復習のための学習ノート(年表形式)を活用する。その提出は期限を決めて行う。				
注意点	成績評価: 中間テスト成績40%(年表シートとは別)、期末テスト(40%) 必須レポート(年表シート) 20%(提出期限を守れるかどうか評価対象とする。)を原則とする。 合格基準: 60点以上を合格とする。 再試験: 実施する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	【授業内容】日本建築史ガイダンス 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	日本建築史を学ぶ意義、建築の発生と発達の原因についての説明、建築史、都市史変遷の概要の説明、学習ノートの使い方についてのガイダンス について理解できる。	
		2週	【授業内容】日本古代の建築1 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	①縄文・弥生・古墳時代の住居・集落。②飛鳥・白鳳時代の寺院。③奈良(天平)時代の寺院。その時代背景の説明 について理解できる。	
		3週	【授業内容】日本古代の建築2 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	平安時代の密教寺院、浄土教寺院。その時代背景の説明 について理解できる。	
		4週	【授業内容】日本古代の建築3 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	古代の形式を伝承する神社、奈良・平安期成立の神社 について理解できる。	
		5週	【授業内容】日本古代の建築4 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	古代の宮殿と都城、寝殿造 について理解できる。	
		6週	【授業内容】日本中世の建築1 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	大仏様の建築 について理解できる。	
		7週	【授業内容】日本中世の建築2 【事後学習】年表シート記入(目安: 2H)	禅宗様の建築、新和様と折衷様の建築 について理解できる。	
		8週	中間テスト	日本古代建築、大仏様、禅宗様に関する設問について、年表シートを基に解答できる。	
	2ndQ	9週	【授業内容】日本中世の建築3 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	中世の神社 について理解できる。	
		10週	【授業内容】日本中世の建築4 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	北山文化・東山文化、中世の民家 について理解できる。	
		11週	【授業内容】日本近世の建築1 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	城郭建築、書院造り について理解できる。	
		12週	【授業内容】日本近世の建築2 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	茶室、数寄屋風書院 について理解できる。	
		13週	【授業内容】日本近世の建築3 【事後学習】年表シート記入(目安: 1H)	近世の寺院、近世の神社、近世の民家 について理解できる。	
		14週	【授業内容】日本近世の建築4 【事後学習】年表シート記入(目安: 2H)	学校、大店、劇場、遊郭 について理解できる。	

		15週	期末テスト	中世の神社、北山文化・東山文化、中世の民家、城郭建築、書院造り、茶室、数寄屋風書院、近世の寺院、近世の神社、近世の民家、学校、大店、劇場、遊郭に関する設問について、年表シートを基に解答できる。
		16週	レポート、期末テストについてのフィードバック	日本建築史についての復習、歴史的建造物の保存活用について 理解し、学習内容を振り返ることが出来る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	現代にいたる都市計画論について説明できる。	1	前5,前14
				モジュールについて説明できる。	2	前10
				居住系施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。	2	前2,前5,前10,前11,前12,前13,前14
				教育や福祉系の施設(例えば、小学校、保育所、幼稚園、中・高・大学など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	1	前14,前15
				文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	1	前14
				原始(例えば、竪穴住居、高床建築、集落など)の特徴について説明できる。	4	前1,前2
				古代(例えば、住宅建築、寝殿造、都市計画、神社建築、寺院建築など)の特徴について説明できる。	4	前2,前3,前4,前5,前16
				中世(例えば、住宅建築、神社建築、寺院建築(大仏様、禅宗様、折衷様など))の特徴について説明できる。	4	前6,前7,前8,前9,前10,前15,前16
近世(例えば、住宅建築、書院造、数寄屋風書院、町屋、農家、茶室、霊廟、社寺建築、城郭)の特徴について説明できる。	4	前11,前12,前13,前14,前15,前16				

評価割合

	前期中間テスト	前期末テスト	年表シート課題	合計
総合評価割合	40	40	20	100
基礎的能力	0	0	0	0
専門的能力	40	40	15	95
分野横断的能力	0	0	5	5